



Q 亡くなって20年にな
る母は、黒色のト
ートーメー(一人用)に入っ
ています。自稱ユタのおばさん
に「ほかの家のトートーメーと
同じように、母も赤色のト
ートーメーにしてあげたい」と
再三お願いするのですが、
「それは絶対にダメ」と強
く注意されています。なぜ、
おばさんはそこまでト
ートーメーの色にこだわるの
でしょうか？(浦添市・Gさ
ん・40代・女性)

A 沖縄のしきたりに関
するおばさまの習熟
度は図りかねますが、
ご意見が理論に基づいたもの
であることを前提に、可能な
範囲でご回答させていただき
たいと思います。

お位牌と過去帳

故人さまの個人情報にあ
たる、法名(戒名)・俗名(氏
名)・ご命日・数え年・続柄をご
記入する方法は、木札(きふ
だ)を使用するお位牌(ト
ートーメーも含む)と、帳面を
使用する過去帳がありま
す。

お位牌と過去帳の選択は、
宗教・宗旨・宗派による場所
が大きいといわれています。
お位牌と過去帳は、ご供養を
行う上で、心のよりどころと
なるものですから、大小・デザ
イン・色彩などにより、上座・
下座、優劣のつくものではあ
りません。この点から考えま
すと、お母さまのトートー
メーを黒色から赤色にしてあ

げたいというGさんのお気持
ちは、いささかも問題ないとい
うことになります。

**イナグタチクチ
(女性立口)とは**

ではなぜ、おばさまは、黒
色のトートーメーにこだわら
れているのでしょうか？ 仮説
の域を超えませんが、もしか
したら、沖縄のしきたりの禁
忌のうち、イナグタチクチに
ならないようご配慮されてい
るのかもしれない。

このイナグタチクチとは、
女性立口と書きます。ト
ートーメーでは、男性が初代(立
口)となることが望ましく、
女性が初代とならないよう
暗黙の了解があるといわれて
います。これは、沖縄のト
ートーメーが、故人さまをご供
養するお位牌であることは
もとより、その家庭の男性を
中心とする家系図も同時に
表していることに関連してい
ます。

**イナグタチクチの是正
(解決方法)①**

沖縄では、もしも女性が先
立たれたとき、イナグタチク
チのご指摘を頂戴しないよ
う、目上の方々が相当のお気
遣いをしてくださることが多
くあります。

一例を申し上げますと、
トートーメーに女性だけのお
名前をご記入するイナグタ
チクチに該当するとき、中央
の札に『歸眞靈位(きしんれ
い)』をご記入する方法が

あります。

この旧漢字の『歸眞靈位』
は、新漢字の『帰真(元)靈
位』と書かれることもあり、
諸説のうち、『先祖代々』と訳
されます。この『先祖代々』に
は、男性・女性の性別も含ま
れるという解釈から、『歸眞
靈位』の書かれているト
ートーメーは、女性お一人がご記
入されている、イナグタチク
チが是正されていることにな
ります。

イナグタチクチの是正②

沖縄では、赤色のトートー
メーに故人さまの個人情報
をご記入することを『本ウン
チケー(案内)』といい、これに
より、ご法事・年中行事など、
故人さまの本格的なご供養
が始まるという意味合いを
含みます。

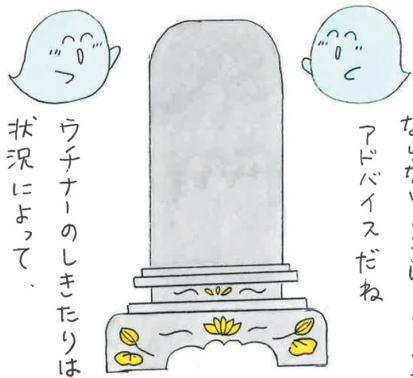
この『本ウンチケー』に対
し、ご葬儀やナンカ(七日)で
ご供養するシルイフェーとい
う白木位牌は、『仮
ウンチケー』といわ
れ、『本ウンチケー』
の前段階を表してい
ます。

『本ウンチケー』がイ
ナグタチクチにあた
ることが想像できる
とき、地域・家庭に
よっては、意図的に
『仮ウンチケー』のシ
ルイフェーのまま、お
仏壇の下座にご安
置する方法をお見
受けすることがあ
ります。
しかしながら、シ

ルイフェーのままですと、故人
さまが成仏していないのでは
ないかというご意見が出てく
ることも無きにしも非ず。そ
のためおばさまは、イナグタ
チクチを問われることはな
く、ご供養は赤色のトートー
メーに準ずる方法として、黒
色のトートーメーに『仮ウンチ
ケー』するという画期的な是
正を選択されたのではないで
しょうか。

このような沖縄のしきたり
のジブンがあるとき、Gさん
の親孝行のお気持ちをお察
し申し上げつつも、今回はイ
ナグタチクチを考慮しまし
ますが最善のご供養ではないか
とご提案させていただきたい
と思います。

なお、仏壇・仏具の専門的
には、赤色のみをトートー
メーといい、黒色はお位牌とい
う製品のな区別もあるとの
ことですので、ご参照いただ
ければと思います。



「イナグタチクチに

ならないように、ありがた

絵. 帰依 いさ

ウチナーのしきたりは
状況によって、
いろいろあるさ

